第２次札幌市環境基本計画策定に向けた意見報告会～私たちが創る「環境首都・SAPP ◡ RO」～ 実施報告

□実施概要

第２次札幌市環境基本計画策定に向けた意見交換会
～私たちが創る「環境首都・SAPP◡RO」～
日　時：平成29年12月9日（土）13:30～16:00
会　場：札幌エルプラザ４F研修室１
主　催：環境中間支援会議・北海道※
共　催：札幌市

※環境省北海道環境パートナーシップオフィス、公益財団法人北海道環境財団、札幌市環境プラザ、認定NPO法人北海道市民環境ネットワークの4拠点で構成し、環境保全活動に関する情報受発信、出版、セミナ・ワークショップ等を協働で実施しています。（ http://enavi-hokkaido.net/ ）

プログラム

13:30　開会、挨拶
13:35　情報提供
　１．第２次札幌市環境基本計画について
　　佐竹 輝洋（札幌市環境局環境都市推進部環境計画課調査担当係長）
　２．札幌審議会からみた第２次札幌市環境基本計画のポイント
　　半澤 久 氏（第10次札幌市環境審議会 副会長）
　３．第２次札幌市環境基本計画
　　第３回みんなで考えるワークショップの報告
　　大沼 進 氏（北海道大学大学院文学研究科　准教授）
14:35　意見交換 / 計画への意見・質問
　参加者同士の対話を通じて計画への理解を深め、官民協働の可能性を探る
15:30　まとめ
16:00　閉会

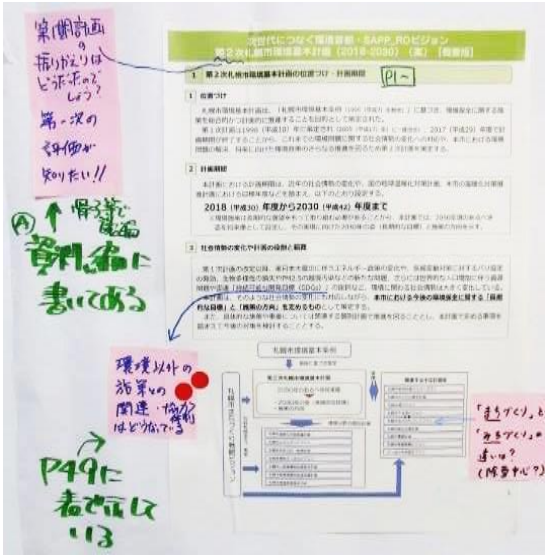
□実施状況（写真）

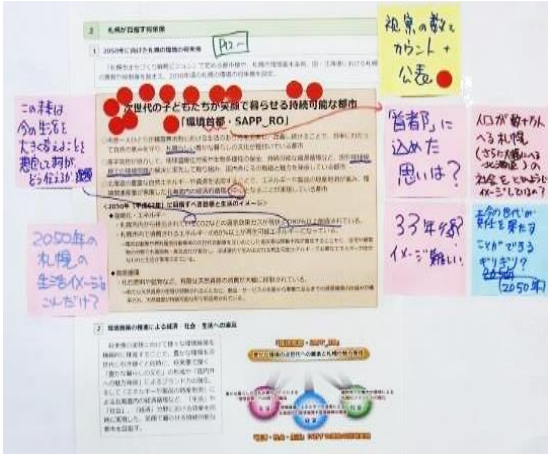
意見交換会に使用した資料は第２次札幌市環境基本計画（案）パンブリックコメント募集ページからダウンロード、各配布場所にてご確認できます。

〇第２次札幌市環境基本計画（案）パンブリックコメント募集ページ
http://www.city.sapporo.jp/kankyo/keikaku/newkeikaku/dai2pc.html

「第２次札幌市環境基本計画策定に向けた意見報告会～私たちが創る「環境首都・SAPP ◡ RO」～」におけるご意見・ご質問

・「」内は概要本文を引用
・意見交換会の中でコメントや質問を記載
・●は参加者が良いと思った施策やコメント等に貼ったシール数





次世代につなぐ環境首都・SAPPROビジョン
第２次札幌市環境基本計画（2018～2030）（案）概要版　P１

１．第２次札幌市環境基本計画の位置づけ・計画期間
（質問⇒回答）
・第２次計画の振り返りはどうだったのか、評価はどうだったか？
⇒振り返り内容は、本編ではなく資料編に記載。未達成事項や、新しい取組を第２次計画に導入。

１－３ 社会情勢の変化や計画の役割と範囲
（質問⇒回答）
・「持続可能な開発目標（SDGs）」では環境以外の施策との関連や協力体制はどうなるのか？（●2）
⇒SDGsの概念を用いると、他分野との連携が可能。本編P49に施策とSDGs169のターゲットとの関連を整理した。
・まちづくりとみちづくりの違いは？（除雪中心？）
⇒札幌市まちづくり戦略ビジョン（ http://www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/）は、札幌市全体にかかること
札幌市冬のみちづくりプラン（ http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/plan/index.html）は冬の除雪に特化して記載。

次世代につなぐ環境首都・SAPPROビジョン
第２次札幌市環境基本計画（2018～2030）（案）概要版　P２

２.札幌が目指す将来像
２－１ 2050年に向けた札幌の環境の将来像
・視察の数をカウント+公表（●1）
・今の世代が責任を果たすことができるギリギリ？（2050年）

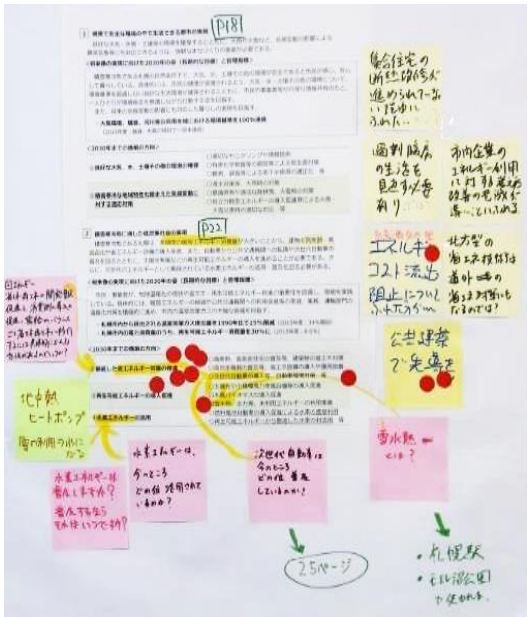
将来像：次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPPRO」（●12）
（質問⇒回答）
・「首都」に込めた思いは？
⇒2008年、世界に誇れる環境都市を目指す「環境首都・札幌」を宣言し、札幌市は世界の中で率先した行動を目指す。
・人口が数十万人減る札幌（さらに大幅に減る北海道）の社会をどのようにイメージしているのか？
⇒道内自治体と連携をして課題に向き合いたい。

〈2050年（平成62年）に目指すべき目標と生活のイメージ〉
（質問⇒回答）
・2050年の札幌の生活イメージはこれだけか？⇒定量的に挙げることは難しいため、２つの分野を記載。
・33年後のイメージは難しいのではないか？
⇒「これまで」と「これから」は大きく違う。「どんな豊かさを持つか」という問いには「ずっと笑顔でいること」と答えている。

◆温暖化・エネルギー
（意見）
・今の世代がギリギリ責任を果たせられるのが2050年だと思う。
（質問⇒回答）
・「…CO2等の温室効果ガスが現状より80%以上削減…」この未来は今の生活を大きく変えることを想定しているが、どのように伝えるか？
⇒まずは2030年を考える。その先に2050年が見える可能性がある。

「第２次札幌市環境基本計画策定に向けた意見報告会～私たちが創る「環境首都・SAPP ◡ RO」～」におけるご意見・ご質問

・「」内は概要本文を引用
・意見交換会の中でコメントや質問を記載
・●は参加者が良いと思った施策やコメント等に貼ったシール数



次世代につなぐ環境首都・SAPPROビジョン
第２次札幌市環境基本計画（2018～2030）（案）概要版　P３

３.将来像を実現するための５つの柱［2018（平成30）年～2030（平成42）年］
施策の方向を示す５つの柱

（意見）
・「環境基本計画」は、SDGsが入ると「札幌市まちづくり戦略ビジョン」となり得る。（●１）
・「環境施策の横断的・総合的な取り組みの推進」を誰がやるのか決めるべきだ

（質問⇒回答）
・札幌市まちづくり戦略ビジョンとの関係は？⇒SDGs関連団体との連携を図る。

〈国連「持続可能な開発目標（SDGs）」の視点や各主体との関わり〉（●６）

（質問⇒回答）
・既にSDGsに関連した取り組みを進める主体の連携は？⇒すでに下川町やフェアトレード団体との連携をした取り組みを始めている。
・SDGsの視点はおもしろい！どう世界にアピールするのか？⇒今年のハイレベル政治フォーラムにおいて日本のSDGsに関する報告書の中に札幌市がシンポジウムを開催したこと、秋元市長コメント付きムービーの放映など世界へのアピールも少しずつできている。
また、フェアトレードタウンさっぽろの認定を目指す等、環境と関連した取り組みを行い発信していきたい。（●４）

次世代につなぐ環境首都・SAPPROビジョン
第２次札幌市環境基本計画（2018～2030）（案）概要版　P４

３－２ 積雪寒冷地に適した低炭素社会の実現

（意見）
・集合住宅の断熱改修が進められていない理由に触れたい
・過剰暖房の生活を見直す必要があるのではないか
・市内企業のエネルギーの利用に対する考え方改善意識が薄いことにふれる
・エネルギーコスト流出阻止についてふれた方がいい（●１）
・北方型の省エネ技術は道外の省エネ対策にもなるのでは？
・公共建築で先導を！（●２）

〈2030年までの施策の方針〉

①徹底した省エネルギー対策の推進（●７）

（質問⇒回答）
・省エネ・再エネの開発普及促進と消費者側に導入の促進。需給のバランスごと省エネ・再エネに移行するには具体的にどのような方法があるか？⇒補助金を活用いただき、家庭や職場で省エネ製品をより多く利用していく。太陽光、風力等、地形に合わせ利用を促進。
・次世代自動車は今のところどの位普及しているのか？⇒札幌市内の自動車保有台数約86,000台/1,000,000台（H27年度）。
徐々に普及してきている。（本編P25参照）

②再生可能エネルギーの導入促進（●１）

（意見）
・地中熱ヒートポンプは、雪を利用して水になる。

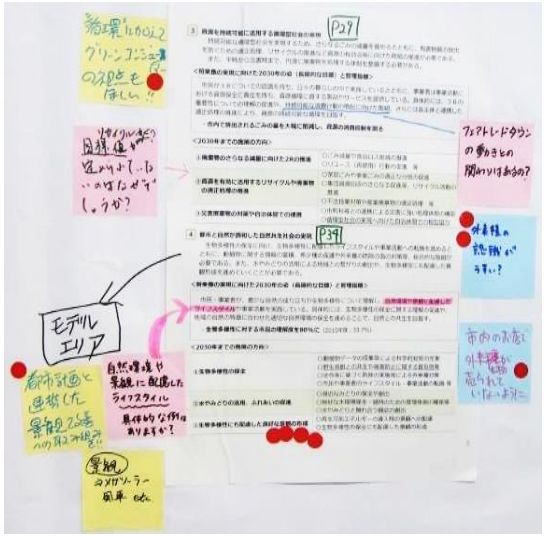
（質問⇒回答）
・雪氷熱とは何か？⇒雪を冷房に活用する技術のこと。JRタワーでは約10日間しか使えないが、モエレ沼公園のガラスピラミッドでは８～９月頃まで用いられる。雪保管コストとのバランスが課題。

③水素エネルギーの活用

（質問⇒回答）
・水素エネルギーは普及する？ 普及するならそれはいつ？
⇒４大都市圏では普及が始まっている。北海道、札幌市も水素自動車を導入予定。今後、自動車の買い替えにより普及拡大する可能性がある
・水素エネルギーは今のところどの位活用されているのか？⇒現在はまだ導入されていない。

「第２次札幌市環境基本計画策定に向けた意見報告会～私たちが創る「環境首都・SAPP ◡ RO」～」におけるご意見・ご質問

・「」内は概要本文を引用
・意見交換会の中でコメントや質問を記載
・●は参加者が良いと思った施策やコメント等に貼ったシール数



次世代につなぐ環境首都・SAPPROビジョン
第２次札幌市環境基本計画（2018～2030）（案）概要版　P５

３.資源を持続可能に活用する循環型社会の実現
（意見）
・循環に加えてグリーンコンシューマーの視点もほしい！（●１）
<将来像の実現に向けた2030年の姿（長期的な目標）と管理指標>
（質問⇒回答）
・「…持続可能な消費行動の喚起に向けた取組…」フェアトレードタウンの動きとの関わりはあるのか？
⇒国内にフェアトレードタウンに認定された自治体は４つ。札幌市は５番目を目指し取り組みを準備中。

<2030年までの施策の方向>
②資源を有効に活用するリサイクルや廃棄物の適正処理の推進について
（質問⇒回答）
・リサイクル率とは？その目標値が定められていたのはなぜか？⇒個別計画「札幌市一般廃棄物処理基本計画」（ http://www.city.sapporo.jp/seiso/keikaku/slimplan2/index.html）に定めている。現在計画改定中。

４.都市と自然が調和した自然共生社会の実現
（意見）
・外来種の認識が薄いと感じる。（●２）
・市内の店で外来生物が販売されていないようにするべきだ。（●１）

<将来像の実現に向けた2030年の姿（長期的な目標）と管理指標>
（質問⇒回答）
・「…自然環境や景観に配慮したライフスタイル…」具体的な例はあるか？
⇒花壇や街路樹づくり（家庭、自治会など）。景観と再生エネルギーとのバランスをとること。

<2030年までの施策の方向>
③生物多様性にも配慮した良好な景観の形成（●４）
（意見）
・景観→メガソーラー、風車etc.
・都市計画と連携した景観改善の取り組みを！（●１）

「第２次札幌市環境基本計画策定に向けた意見報告会～私たちが創る「環境首都・SAPP◡RO」～」におけるご意見・ご質問

・「」内は概要本文を引用
・意見交換会の中でコメントや質問を記載
・●は参加者が良いと思った施策やコメント等に貼ったシール数

次世代につなぐ環境首都・SAPPROビジョン
第２次札幌市環境基本計画（2018～2030）（案）概要版　P６

５．環境施策の横断的・総合的な取組の推進（●２）
（意見）
・土地の狭い日本なので、広く土地を使わないグリーンカーテンなどを多用し緑化を図ると良い（SAPP◡ROのマークをつけてPRする）。
・環境プラザをもっと活用できる位置づけを！ SDGsプラザへ。
・姉妹都市と若者の環境交流を！
（質問⇒回答）
・札幌市の役割の具体的方針は？⇒個別計画で示している。
・「…様々な主体との連携により…」の「連携」のための具体的な方法は？（●４）⇒SDGsを使って多様な連携を進める

<将来像の実現に向けた2030年の姿（長期的な目標）と管理指標>
（質問⇒回答）
・「…環境教育、学習や、産学官民が連携した…」の「民」の中身は？⇒市民社会、NGO/NPOなど。

<2030年までの施策の方向>
①幅広い世代への環境教育・学習の推進について
（意見）
・社会教育とも連携を！（●３）
（質問⇒回答）
・どのような学びが有効か話題はあったか？（●１）⇒学校教育でのエコライフレポート（95%の回収率だった）。

③環境保全活動を通じたコミュニティの活性化の推進について（●３）
（意見）
・この視点が良いと思う。
（質問⇒回答）
・子ども以外の環境教育はどこで行えるか？また、機会と場所は新たに作らなければならないか？（●２）
⇒NPO/NGO、市民講座、普及啓発、COOL CHOICE行動変容を促している。

④道内連携、様々な主体との連携の推進（●６）
（質問⇒回答）
・「連携」のための具体的な方法は？
⇒SEG（サッポロ エネルギー ゲートウェイ）のように、各分野において産学官民連携を進めている。

４．「環境首都・SAPPORO」の実現に向けた推進体制
（意見）
・学校教育の中での環境教育を系統だったものに。全市民が同じ話で学べるように。
・市民参加による新たな進行管理を！
・SDGs各分野の施策との連携の評価を！
・札幌市だけではなく江別・石狩を含めた札幌圏で進めてほしい（地方ではこれだけのことはできない）。
・「…計画の進捗管理を実施…」で環境プラザで進捗の展示を！
（質問⇒回答）
・市の職員への教育は？⇒縦割りの解消は難しいがSDGsの勉強会等の開催を行っている。
（告知）
・2/1　都市と環境セミナー@東札幌